拓心中だより

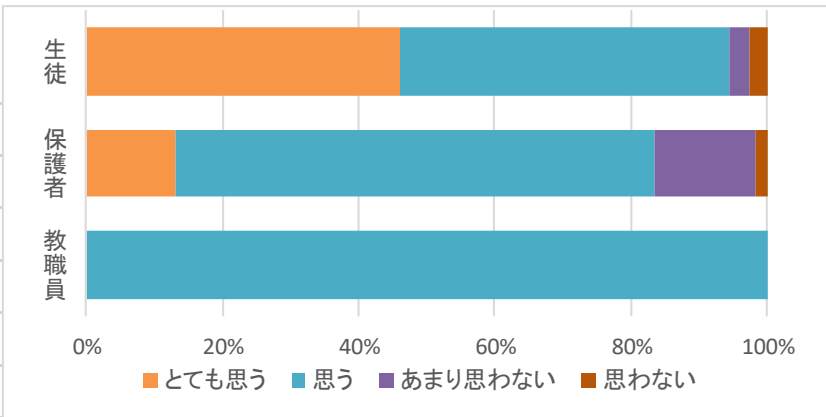
令和　４年　３月１０日
猿払村立拓心中学校
学校だより　第１３号
発行責任者　校長　藤田　　淳

猿払村立拓心中学校　令和３年度後期学校評価アンケート　集計結果

※回答人数：生徒７４名，保護者６１名，教職員１２名　　※グラフは後期

1　先生は、「わかる授業」をしている。

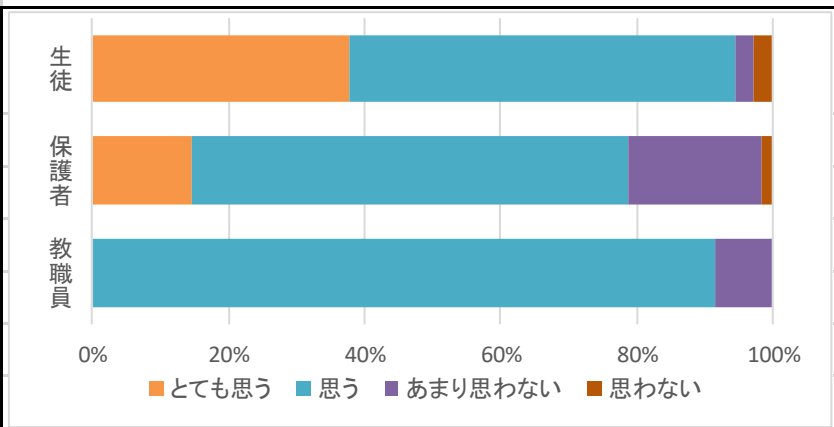
		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	前期	62.2	37.8	0.0	0.0
	後期	45.9	48.6	2.7	2.7
保護者	前期	8.9	80.0	8.9	2.2
	後期	13.1	70.5	14.8	1.6
教職員	前期	8.3	91.7	0.0	0.0
	後期	0.0	100.0	0.0	0.0



前期同様「思う・とても思う」の数値が高くなっています。一方で、生徒・保護者の中にはそう捉えていない結果も出ています。今後は、学習の必要性・重要性を生徒に考えさせながら、授業の改善・充実を図ります。また、ＩＣＴ機器の活用も充実させていきます。

2　先生方は、「生徒の考える力を高める授業」をしている。

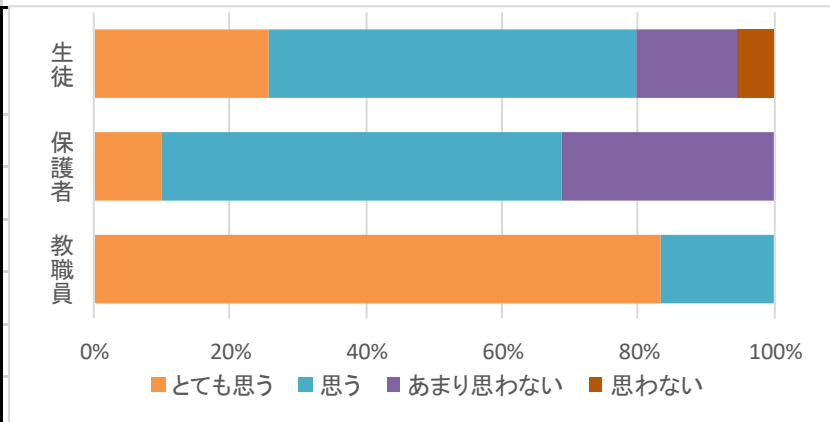
		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	前期	55.4	41.9	2.7	0.0
	後期	37.8	56.8	2.7	2.7
保護者	前期	4.4	77.8	17.8	0.0
	後期	14.8	63.9	19.7	1.6
教職員	前期	8.3	83.3	8.3	0.0
	後期	0.0	91.7	8.3	0.0



ほぼ前期同様の結果となっています。「考える力」は学習だけにとどまらず、生きていく上で何よりも重要な力であり、先行き不透明な時代にあってはますます必要な力です。今後も自分で考え、判断し、実行していく力を育成できるよう、授業を中心に市ながら様々な教育活動での工夫を図っていきます。

3　生徒は、授業で将来必要な力を身につけている。
学校は、生徒に必要な資質・能力を育成している。

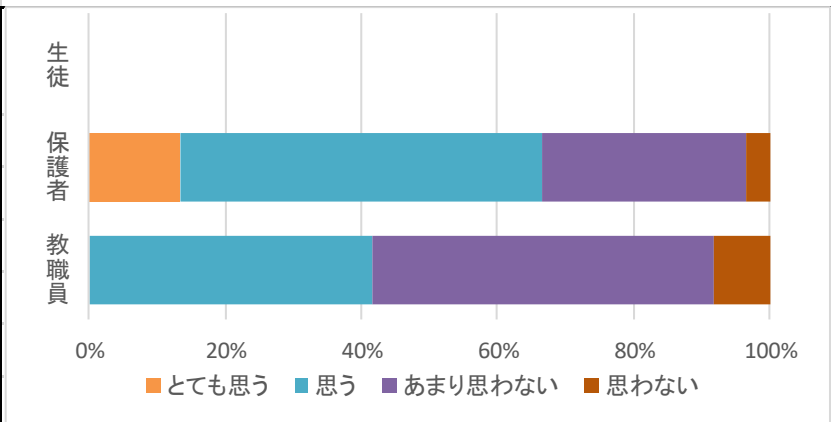
		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	前期	37.8	44.6	16.2	1.4
	後期	25.7	54.1	14.9	5.4
保護者	前期	4.2	70.8	22.9	2.1
	後期	9.8	59.0	31.1	0.0
教職員	前期	8.3	75.0	16.7	0.0
	後期	83.3	16.7	0.0	0.0



前期に比べて保護者の評価が下がり気味です。生徒に将来必要な「生きる力」を育成することは、学校の責務です。各種調査やテストの分析結果からは、学力的に伸ばし切れていない面があります。また、健康・体力等にも課題があります。「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」の確かな育成に向けて取組を進めます。

4	学校の学力向上の取組や成果、改善策はよく分かる。 学校の学力向上の取組や成果、改善策は保護者に理解されている。

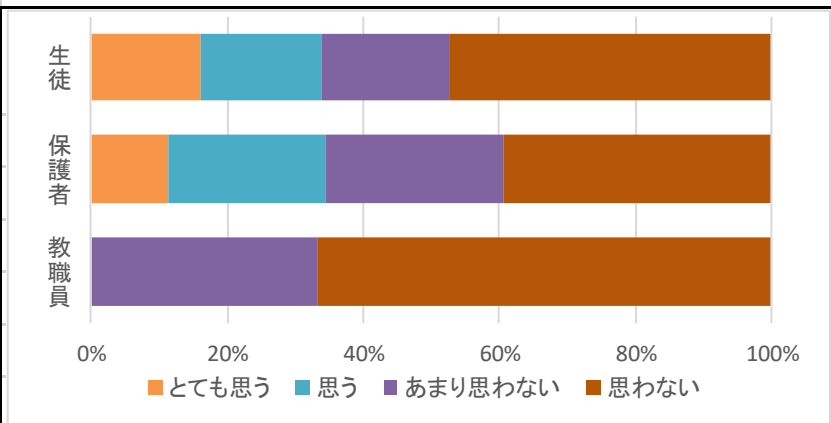
		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	前期				
	後期				
保護者	前期	6.0	56.0	28.0	10.0
	後期	13.3	53.3	30.0	3.3
教職員	前期	0.0	41.7	58.3	0.0
	後期	0.0	41.7	50.0	8.3



前期よりは「とても思う」「思う」と答えた割合が増えています。今後も学校の取組を各種お便りやＨＰなどを活用し、わかりやすく伝えていく工夫をします。なお、現在学校では、学力向上に限らず、様々なことについて「自分をコントロールすること」を指導の重点にしています。自律する力の向上を図ります。

5	生徒は、毎日家庭学習を９０分以上している。

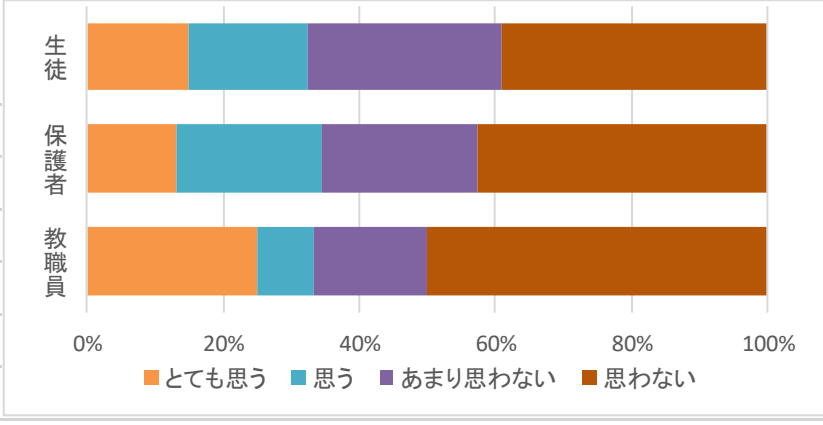
		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	前期	13.9	26.4	29.2	30.6
	後期	16.7	18.1	19.4	48.6
保護者	前期	9.3	14.8	46.3	29.6
	後期	11.5	23.0	26.2	39.3
教職員	前期	0.0	0.0	66.7	33.3
	後期	0.0	0.0	33.3	66.7



前期より「思わない・あまり思わない」がさらに多くなっています。家庭学習は学力向上や生活習慣の確立には不可欠です。各教科で家庭学習の指導を行い、定期テスト前の取組や教育相談を実施していますが、家庭との連携を強く図りながら、家庭学習習慣の定着を目指します。

6	生徒は、スマホやゲーム等を１日９０分以内にしている。

		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	前期	20.3	24.3	21.6	33.8
	後期	14.9	17.6	28.4	39.2
保護者	前期	15.4	28.8	32.7	23.1
	後期	13.1	21.3	23.0	42.6
教職員	前期	8.3	25.0	25.0	41.7
	後期	25.0	8.3	16.7	50.0

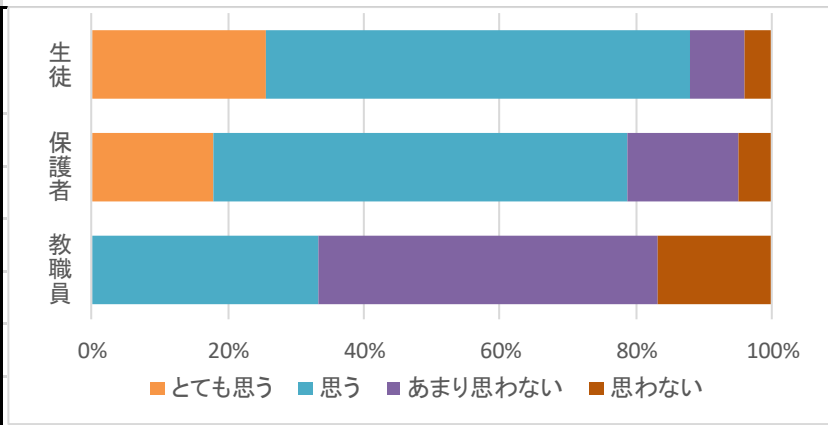


前期より「思わない・あまり思わない」が増加しています。家庭学習の少なさや就寝時間の遅さなど、生活リズムの乱れにもつながっており、最重点課題といえます。家庭との連携が欠かせない項目です。今後も協働した取り組みを進めていきます。

◎生徒記述回答【２学期で自分が成長できたことを書いて下さい】《１年生》
人の前ではずかしがらずに話せた。／前より少し集中力が高まった。／どりょく／ワークをためずにできるようになった事。／チャイム席は守れている。あいさつしてる。／前に出て発表することが成長できた。積極的にとりくむことが成長できた。／やるときめたことをやりとげることができた。／身長／友だちと仲よくできた。勉強を頑張れた。／集中力が上がった。／相手のことを考えて話をすること。／周りを見れるようになってきた。／チャイム席。忘れ物をなくす。／話しあい活動／１学期よりはすすんで委員会などにはいれた。わからなくても考えることができた。／周りを見て行動できるようになった。相手の事をより考えられた。／部活では目標をもって練習にとりくめた。テストでは良い点数をとれなかったが、授業を受ける工夫ができた。／時間の使い方を考えて行動できるようになった。／忘れ物が少ない。／全部／人とはなすこと。

7	生徒は、マナーやルールが身についている。

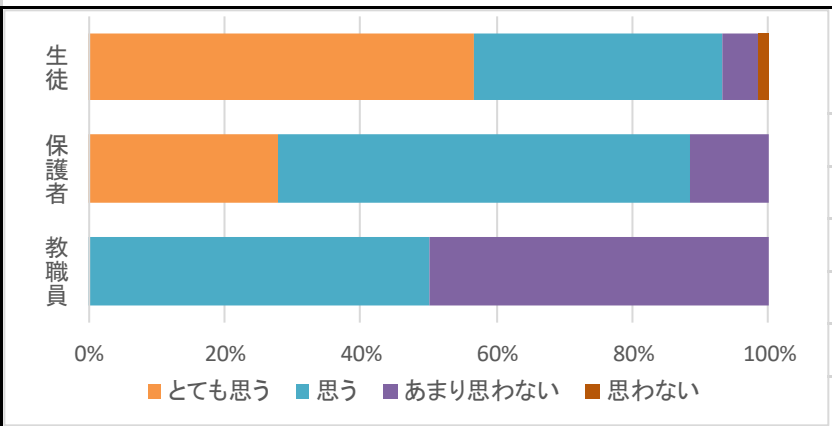
		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	前期	29.7	58.1	10.8	1.4
	後期	25.7	62.2	8.1	4.1
保護者	前期	13.7	66.7	15.7	3.9
	後期	18.0	60.7	16.4	4.9
教職員	前期	0.0	25.0	58.3	16.7
	後期	0.0	33.3	50.0	16.7



生徒・保護者と教職員の大きくずれた結果となっています。「４」でもお伝えしましたが、「自分をコントロールする」「人を不愉快にさせない」を重点に指導していきます。マナーやルールが守れていない場面を捉えて、その都度考えさせます。また、生徒会や委員会からの働きかけも同時に進め、自治・自浄の力を高めていきます。

8	生徒は、いじめのない学校生活を送っている。

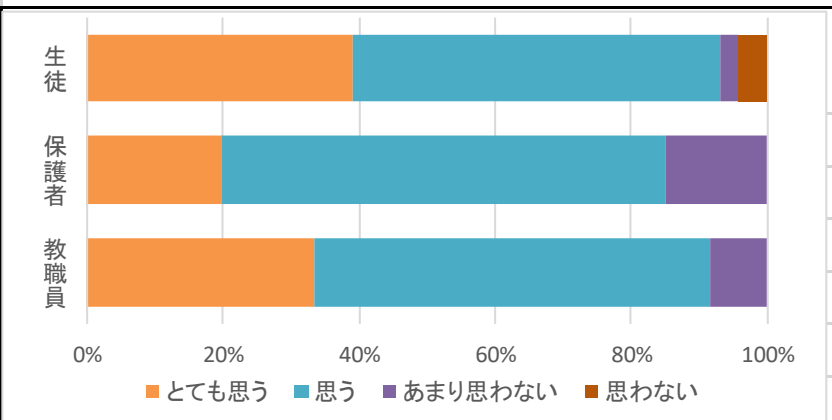
		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	前期	68.9	21.6	8.1	1.4
	後期	56.8	36.5	5.4	1.4
保護者	前期	28.8	59.6	11.5	0.0
	後期	27.9	60.7	11.5	0.0
教職員	前期	8.3	75.0	16.7	0.0
	後期	0.0	50.0	50.0	0.0



前期同様「思う」と答えた割合が多くなっています。ただし、そうではないという回答もあります。（特に教職員）「思わない・あまり思わない」がなくなることをめざし、全教職員による日常的な観察やアンケート調査・面談により今後も未然防止に努めます。また、いじめが発見された場合には迅速且つ的確な対応をとります。

9	先生は、ていねいに生徒の相談にのっている。

		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	前期	56.8	40.5	2.7	0.0
	後期	39.2	54.1	2.7	4.1
保護者	前期	8.7	78.3	10.9	2.2
	後期	19.7	65.6	14.8	0.0
教職員	前期	41.7	58.3	0.0	0.0
	後期	33.3	58.3	8.3	0.0

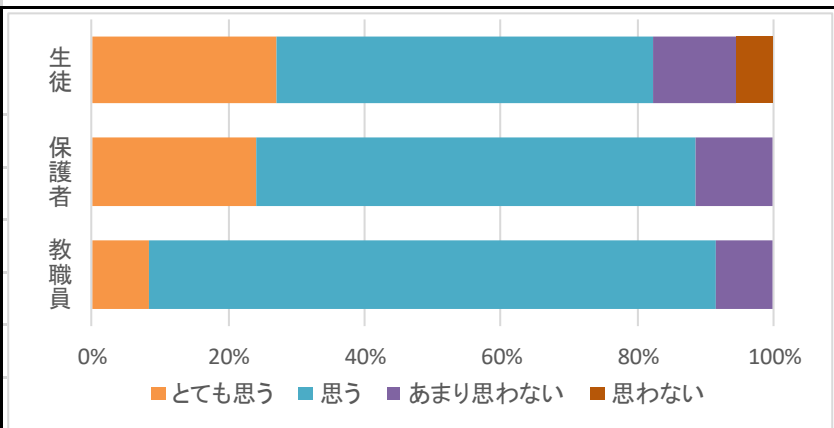


前期同様「思う」と答えた割合が多くなっています。しかしながらそうではないとしている回答もあります。今後も生徒の思いや悩みをていねいに聞き取り、充実した支援が行えるよう取り組んでいきます。その積み重ねで、生徒・保護者との信頼関係を築いていきます。

◎生徒記述回答【２学期で自分が成長できたことを書いて下さい】《２年生》
コミュニケーション能力／身長／上手く人と関われるようになってきた。／まあまあ体力をつけれました。

10	行事を通して、生徒の成長が感じられる。

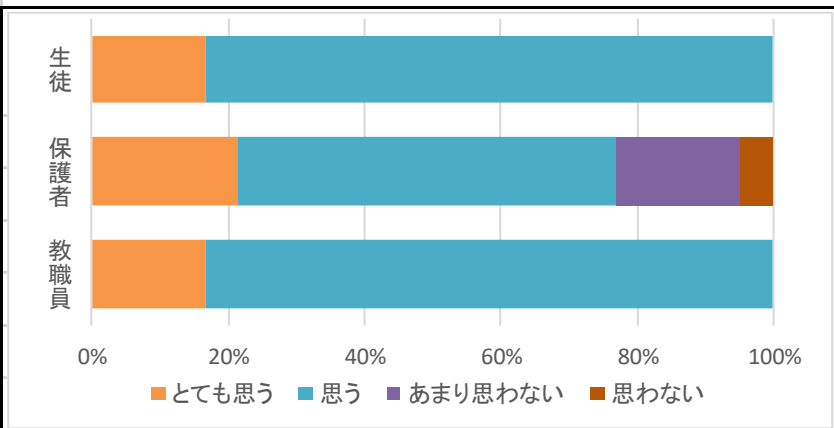
		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	前期	32.4	50.0	14.9	2.7
	後期	27.0	55.4	12.2	5.4
保護者	前期	14.0	67.4	18.6	0.0
	後期	24.2	64.5	11.3	0.0
教職員	前期	25.0	50.0	25.0	0.0
	後期	8.3	83.3	8.3	0.0



前期に比べ保護者の「とても思う・思う」と答えた割合が増えています。体育祭や学校祭などが評価されたものと考えられます。今後も生徒の成長につなげていくように支援していきます。あわせて、教育活動の見直しを進める中で、行事のもつ教育効果と取り組み内容・方法・時間などについて検討を行っていきます。

11	お便りなどで、学校や学級のこと（生徒の様子や様々な情報）がわかる。

		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	前期	45.9	44.6	5.4	4.1
	後期	16.7	83.3	0.0	0.0
保護者	前期	12.2	55.1	22.4	10.2
	後期	21.3	55.7	18.0	4.9
教職員	前期	16.7	75.0	8.3	0.0
	後期	16.7	83.3	0.0	0.0



前期に比べ保護者の評価が上がっています。学級通信では学級ごとのようすについて家庭に伝えることができました。今後も各種通信やホームページを通して、生徒の生活のようすや学校の状況が伝わるように努めていきます。また、お便りなどが確実に保護者に届くよう、生徒への指導を家庭と連携しながら進めます。

◎生徒記述回答【２学期で自分が成長できたことを書いて下さい】《３年生》
コミュニケーションがたくさんとれる。／相手の思考をイメージする。／勉強を頑張った。／人前に出て何かをする力がついた。／色々な取り組みに参加できた。／盛り上げ上手になった。／勉強する。／ノートをしっかりとる。／テストの点がかなりよくなった。／苦手なことをしっかり取り組む。／新しいことに自分から取り組むようになった。／メンタルが少し鍛えられた。進路とか真面目に向きあった。／自分から行動できるようになった。やると決めたらやりとげようとすること。／合唱委員会のアルトリーダーをやって、リーダーシップが上がった。／身長、体重／志望校を目指して、家でも勉強できるようになったこと。

◎保護者記述回答【２学期でお子さんが成長できたことを書いて下さい】
《１年生》
考え方が違う相手への対応の仕方を、模索しながら身につけているところだと思います。／テスト週間の学習の取り組み方（時間など）／家庭学習の時間が長くなりました。点数はイマイチでしたが、テストの順位がひとつ上がったようです。／頼まれたことを嫌がらずに出来るようになってきた。／楽しい学生生活を送っているように感じます。本人が自分の力で充実できていることに成長を感じます。

《２年生》
”苦手”と言い続けてきた教科の検定にチャレンジしたり、これまでは人より前に出ることを避けてきた所があったのに、合唱の代表に立候補するなど、今までにないチャレンジがあり、よいステップアップができたのではと思います。／学校行事や部活・大会で活動を頑張りながら、人とのつながりを広げていってるなぁと思いました。そのエネルギーを勉強に少しまわしてほしいですね。／以前より考えて行動するようになった。（見通しを持って）／常に誰よりも行事を楽しむ姿が更に進化。職場体験で得られた経験値。受け入れて頂いた企業様、先生方に感謝。／３年生が様々な場所から引退し、今度は自分達が最高学年として下級生を引っ張っていかなくてはならないのだという自覚が生まれてきたようです。がんばって下さい。／人前での発言が苦手でしたが、少し抵抗がなくなったと思います。／自ら表立った場に身を置いたこと。

《３年生》
学校祭や体育祭など大きな行事で皆と協力して頑張っている姿を見て、協調性が養われているなあと感じました。／学校祭にむけてはがんばっていたと思う。